

直前期に役立つ医学部小論文・面接対策

講師：水谷留美

担当科目：面接・小論文・国語



河合塾グループ 医系専門予備校

メディカル ラボ®

テーマ

- ① はじめに
- ② 直前期にできる対策
- ③ 保護者ができるサポート
- ④ 入試で問われるテーマ
- ⑤ 自宅での模擬面接
- ⑥ さいごに

はじめに

医学部受験における小論文・面接の位置づけ

- 一次試験（教科の得点）だけでは合格できない
- 二次試験（小論文・面接）で合否は変わる

はじめに

医学部受験における小論文・面接の位置づけ

大学ごとの小論文・面接の配点（例）

大学名	小論文配点	面接配点
東京医科大学	60点	40点
川崎医科大学	面接・小論文合わせて100点	
昭和医科大学	20点	100点
久留米大学	50点	50点

はじめに

医学部受験における小論文・面接の位置づけ

- ・ 小論文や面接は「人物評価」そのもの
⇒ **生徒の人柄・日常での思考力**を評価される
- ・ 物事を多面的に考える力が重要になる
- ・ 早い段階から対策が必要なため、**意識喚起**を行う
⇒ 新聞やニュースなどの話題を通じて、
コミュニケーションや自分で考える機会を提供することが大事

はじめに

医学部受験における小論文・面接の位置づけ

- ・ 小論文：文章を通して出題者の意図を汲み取ること

⇒小論文の問題の意図、相手の気持ちを読む

⇒患者さんの気持ちを汲む力

はじめに

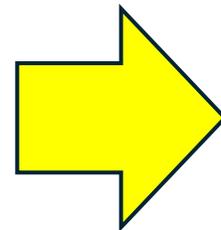
医学部受験における小論文・面接の位置づけ

- ・ 面接：「医師になりたい」という熱意や、医師になるためにどのような努力をしてきたかを伝える**自己PRの場面**

⇒面接官のキャラクターを踏まえてコミュニケーションを取ることが大切
(コミュニケーション力の根幹は想像力)

言葉として表されない面接官の意図や心情を汲み取って返答する

- ・ 生徒の言葉や思考の組み立てのプロセス
- ・ 一面的ではなく、多角的に考えられているか



受験生の評価基準に

はじめに

2次試験とは…医師としての適性や資質、人間性を確かめるもの

面接時間：平均15-20分

面接時間が長い例：国際医療福祉大学 30分×2回

質問内容（国際医療福祉大学）

①生徒自身について

（志望動機書の内容・今やりたいこと・将来について）

②時事問題

（医療についての話題：新型出生前診断、介護保険、がんゲノム医療など）

- ① はじめに
- ② 直前期にできる対策**
- ③ 保護者ができるサポート
- ④ 入試で問われるテーマ
- ⑤ 自宅での模擬面接
- ⑥ さいごに

直前期にできる対策

基本：自分自身の言語化

標準：コアテーマに対する要点を押さえる

応用：時事問題、先端医療について

直前期にできる対策

応用：時事問題、先端医療について

①時事問題：

令和の米騒動、日本初の女性総理大臣の誕生、直美問題についてなど

②先端医療：

がんゲノム医療、新型出生前診断、IPS細胞など

上記の事柄について概要を押さえ、自分の意見を言えるようにしておきたい

- ① はじめに
- ② 直前期にできる対策
- ③ 保護者ができるサポート**
- ④ 入試で問われるテーマ
- ⑤ 自宅での模擬面接
- ⑥ さいごに

保護者ができるサポート

- **無理強いをしない**
- **親に支援を求めてくる場合/求めてこない場合**
- **OK/NGな言葉かけ**

保護者ができるサポート

- ・ **無理強いをしない**

例：面接のテーマなど無理に意見を求めないようにする

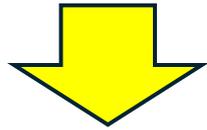
⇒お子様の性格によってさまざまな為、**様子を見ながら進めることが重要**

保護者ができるサポート

・ 親に支援を求めてくる場合/求めてこない場合

埼玉医科大学面接問題 ※メディカルラボ受験レポートより

「受験生の親にアドバイスを述べてください」



「何も聞かないでほしい」

「そっと見守ってサポートしてほしい」

「週1の進捗確認をしてほしい（最近どう？など）」

学習面で見守る姿勢・生活面でのサポート・適度な距離感をとることが大切

保護者ができるサポート

- ・ **親に支援を求めてくる場合/求めてこない場合**

自宅での面接練習も効果的！

＞ 面接練習によって自分の考えをまとめる力が身につく

＞ 「地域医療」「医師不足」といったテーマに基づく面接練習は、
小論文対策・志望理由書作成に生かせることも

保護者ができるサポート

- ・ 親に支援を求めてくる場合/求めてこない場合

家族が揃う時間 = 食事の時間中にニュースを見ることもおすすめ

＞ ニュースで流れている話題をフラットに意見交換でき、
コミュニケーションがとりやすい

何気ない質問や会話が小論文・面接対策・志望理由書作成にも役立つ

保護者ができるサポート

- ・ **NGな言葉がけ**

頑張りを否定する言葉

「なんでこの点数なの？」「2次対策をしてこなかったの？」

- ・ **OKな言葉がけ**

これからの道しるべになるような言葉がけ、プラス思考の言葉がけ

「今からなにができるのか」⇒ **日常会話から始めていくことがポイントになる**

- ① はじめに
- ② 直前期にできる対策
- ③ 保護者ができるサポート
- ④ 入試で問われるテーマ**
- ⑤ 自宅での模擬面接
- ⑥ さいごに

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

- ・ **自分自身のこと(過去・現在・未来)**

これまでのことや、これからどのように成長していきたいかなど

質問されたときに考える時間を減らし、スムーズに答えることが必要

事前に**自己分析**を行い、自分自身について**言語化**できるようにする

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

- ・ 長所
- ・ 短所
- ・ これまで直面した困難なこと
- ・ 挫折経験
- ・ 嫌いな人間
- ・ 理想の医師像 など

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

・ 自分自身のこと(長所・短所)

コミュニケーションが得意な人でも長所や短所を準備なしで話すのは難しい

⇒自分自身を振り返って言語化 3つずつは用意しておくこと

長所：人間性を表す内容、力強い言葉で表現

短所：述べる際はどのように対応しているかまで考える

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

- ・ 困難なこと、挫折経験、嫌いな人間など

ネガティブな質問なので、言葉選びを間違えると誤解を与えかねない

おうちでできること

あえてネガティブな質問を投げかける

例：「どんな人嫌い？」「苦しかった経験」「対立した経験」など

⇒言葉選びや論理的説明・時系列などを確認し、アドバイスしてあげること

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

- ・ 困難なこと、挫折経験、嫌いな人間など

「嫌いな人間がチーム医療にいたらどうしますか？」

NG回答：「チームから外す」⇒ チーム医療に必要な協調性を感じられない

自分がどのように努力をして、苦手なメンバーとうまく付き合っていくのかを伝える

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

・ 医師関連(未来)

医学部志望理由：自身の経験を踏まえるだけでなく、

「どのような医師になりたいか」

「医師として何がしたいか」

「社会にどのように貢献できるのか」

なども具体的に話せるようにする

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

・ 医師関連(未来)

理想の医師像：

技術的側面（医療技術を学び続ける、向上心があるなど）

人間性の側面（同僚や患者から信頼される、リーダーシップがあるなど）

どちらか1つだけでなく、2つの要素を入れ込む

入試で問われるテーマ

< 頻出質問 >

・ 医師関連(未来)

目指す診療科：

- ・ まだ決まっていない場合 ⇒ 「学びながら決めていきたい」
- ・ 関心がある科 ⇒ 具体的に話せるようにする
- ・ 産婦人科や救急科など呼び出しが多い科はライフワークバランスについて問われる場合もある
⇒ 「残業時間が長いことは覚悟しています」などの志を伝えると良い

入試で問われるテーマ

< コアテーマ >

親御さんもテーマについて知ることによって日常会話から面接・小論文対策に生かす

医療系

- 医師不足
- 環境問題
- 格差問題
- AIと医療
- チーム医療

社会系

- 少子化
- 環境問題
- 格差問題
- ヤングケアラー

入試で問われるテーマ

< コアテーマ >

医療系

- ・ **医師不足** ≡ **医師の偏在**

- ① 地域間偏在・・・都市部に医師が集中していること

- ② 診療科目の偏在・・・救急科・産婦人科・小児科

外科医・消化器外科の不足

- ・ **地域医療**・・・僻地・地方・都市部すべての医療を意味する

- 大学病院が地域医療の中核を担っている

出題傾向が高い

入試で問われるテーマ

< コアテーマ >

医療系

- ・ **医師不足…特に外科医不足がメディアでも取り上げられている**

医師全体の人数はこの10年間で約1.3倍まで増加

⇒ しかし、外科医の人数はほぼ横ばい

特に消化器外科医の不足が問題に

入試で問われるテーマ

< コアテーマ >

医療系

- ・ **AIと医療：**

AIの台頭によって医師の役割はどう変わるか

AIとの共存について

- ・ **チーム医療：**

チーム医療の重要性・役割

必要な資質（リーダーシップをとった経験、協調性など）

入試で問われるテーマ

< コアテーマ >

社会系

- ・ **少子化**・・・出生率、社会保障
- ・ **環境問題**・・・地球温暖化と健康被害
- ・ **格差問題**・・・所得の格差による健康格差
子どもの貧困、子ども食堂、フードバンク

入試で問われるテーマ

< 時事テーマ >

医療系

- ・ **直美(ちよくび) :**

初期研修2年間終了後、研修や臨床経験等を省略し、
直接美容整形の現場に就職すること

近年、美容整形外科へ進む医師が増加している

技術・臨床経験が足りない ⇒ 医療事故が起こりやすい

本来の医療の役割について考えることが重要

入試で問われるテーマ

< 時事テーマ >

医療系

- ・ **女性医師増加による医療への影響**

久留米大学の小論文試験で出題

現在の医学部も女性の割合は少なくなく、今後も増加する可能性がある

妊娠・出産・育児によって医療はどのように変わるか（変わるべきか）を問われる

入試で問われるテーマ

< 時事テーマ >

医療系

- ・ 医師の働き方改革

聖マリアンナ医科大学の小論文試験で出題

プラスの側面だけを見て「積極的に推進すべき」と主張するのは危険

長時間労働の改善は重要だが、若手医師の育成が遅れ、

ベテラン医師の負担が増えるという課題が見られる

入試で問われるテーマ

< 時事テーマ >

医療系

- ・ **医療費の膨張**

医療費は増加傾向にあり、2024年度の国民医療費は約48兆円と過去最高を記録

医療費については「社会保険料の増加」と「医療費の削減」の2つの視点が重要

- ・ **大学病院の赤字**

施設の老朽化や人手不足などが大きな問題に

社会インフラの一つとして、大学病院や医療施設をどのように維持していくか

入試で問われるテーマ

< 時事テーマ >

社会系

- ・ **初の女性総理誕生**…ジェンダー問題、女性の社会進出
- ・ **ノーベル生理学・医学賞**…専門的なことを話す必要はなく、受賞のニュースがどのように私たちに希望をもたらすかといった内容でOK
- ・ **令和の米騒動**…インバウンドが一因といわれている

- ① はじめに
- ② 直前期にできる対策
- ③ 保護者ができるサポート
- ④ 入試で問われるテーマ
- ⑤ 自宅での模擬面接**
- ⑥ さいごに

自宅での模擬面接

< シミュレーション形式 >

お辞儀 → 挨拶 → 歩く → 着席 → 退出

- ・ 入退室の際には「失礼します」と言ってからお辞儀をする（挨拶とお辞儀を同時にしない）
- ・ 着席時は背もたれに寄りかからないように注意
- ・ 男子生徒は貧乏ゆすりをしない、女子生徒は膝をつけることを意識する
- ・ 開始時は面接官の指示で着席、終了時は自分で席を立ち、お礼を言ってからお辞儀をする

ポイント：動作はメリハリをつけること

自宅での模擬面接

< 会話形式 >

- 質問に対する返事は「はい、～です。」
文末はしっかり、大きな声で話す
- 話す際は結論から端的に
一文を短めにし、質問をなぞると話しやすい

自宅での模擬面接

< 見るべきポイント >

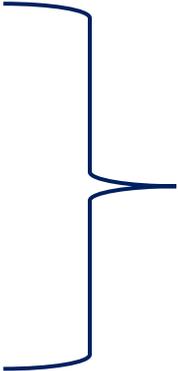
- 視線：面接官を見て話すことが出来ているか
- 話し方：自信をもって、語尾が小さくならないようにはっきりと話せるか
- 姿勢：ずっと背筋が伸びているかどうか、無駄に手足を動かしていないか
- お辞儀：瞬時に頭を挙げていないか
- 挨拶：「失礼します」「ありがとうございました」など語尾を下げて伝えているか
- 応答力：聞かれたことに対して応答しているか
- 自己理解：「自分自身のこと」をどれだけ言葉で表現できるか

- ① はじめに
- ② 直前期にできる対策
- ③ 保護者ができるサポート
- ④ 入試で問われるテーマ
- ⑤ 自宅での模擬面接
- ⑥ さいごに**

さいごに

受験生の皆様へ

- 学んだことへの自分の意見を深める
- 情報の蓄積
- 自己分析、コアテーマへの分析



思考力の向上

高1.2年生の皆様へ

- ボランティアへの参加
- 情報収集（新聞、ニュース）
- 社会の仕組み、医師の役割、世界情勢



視野を広く持ち、
関心があることへの知識を深める

保護者の皆様へ

- ・ **不安を表に出さず、見守る姿勢が大事**
- ・ **適切な距離感で、前向きな言葉をかける**